

【 第 1 回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和元年 7 月 9 日（火） 19:00～21:08

場 所：中標津町役場 3 階 302 号会議室

出席者：12 名

（中標津町自治推進会議委員 5 名、傍聴 1 名、ファシリテーター 1 名、事務局 5 名）

<会議次第>

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

（1）前回の会議の振り返り

（2）今年度の自治推進会議について 《取組内容の具体的検討》

（3）振り返りと確認

（4）その他

4 閉 会

<配付資料>

① 令和元年度第 1 回中標津町自治推進会議次第〔省略〕

② 自治基本条例・自治推進会議 令和 3 年度（2021 年度）までのスケジュール（別途掲載）

何をしたいか？ 何をするか？

③ 数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況（平成 30 年度分）〔省略〕

④ 広報なかしべつ掲載記事「自治基本条例を学ぼう！」の新タイトル・サブタイトル（参考案）〔省略〕

<会議結果報告>

1 開 会

2 挨 拶：佐々木会長

◆議題に入る前に事務局より、
欠席された委員についての報告を行いました。

3 議 題

〔進行：東田ファシリテーター〕



〔会議風景〕

(1) 前回の会議の振り返り

～平成30年度第3回会議では、今年度以降の自治推進会議の内容を話し合い、3年度分のスケジュールを組み立てました。（模造紙／付せんを使っての話し合い）

◆配付資料を参照し、前回会議で話し合われた内容の確認等を行いました。

自治基本条例・自治推進会議 令和3年度（2021年度）までのスケジュール

何をしたいか？ 何をするか？

[資料②（別途掲載）]



- ① フォーラム
- ② 守っているかチェック
- ③ じわじわアンケート

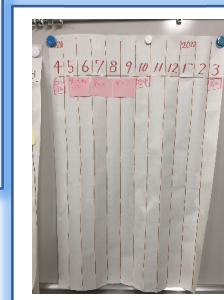
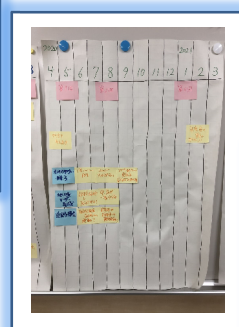
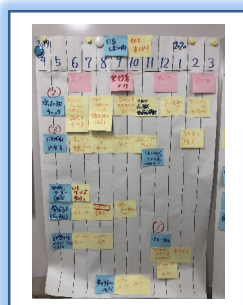
【 地域リーダー育成 】

【 学ぼう！ 】

【 区割り 】

【 知りたい 】

今年度《2019年度》



⇒ 東田ファシリテーター

少し現状のことについて、お互いの報告を。

昨年度の会議が終わってから、今日の会議をするまでの間の3ヵ月程の間に、変化があったこと、進んだこと、知ったこと、分かったことなどがあるのでは？と思うので、お互いに共有した方がいいと思う。それからでなければ、①②③とそれ以外のことも話せないのではないかと。

『進んだ』『こういうことがあった』『関係することがあった』ということがあれば、挙手の上お願いしたい。

①フォーラム

⇒ 委員より

- ・フォーラムのところの付せんで、町内会加入率について書いてあったので、情報として。連合町内会では、この後『町内会のあり方会議』のようなかたちを、意見提案をしながら進めたいとしている。これだけ加入率が減った中で、町民みんなはどう思っているのかと、問いかけてをして行って、分かってもらえるのかももらえないのか、それも含めての『あり方会議』をやりたいということで、下準備が進むと思う。次の役員会は、このテーマで話をする。推進会議ともうまく合致してくれれば良いと思う。
- ・『あり方会議』という名前がすごい。カッコいい。

②守っているかチェック

⇒ 委員より

- ・ 7月28日に議会報告会がある。町内会宛に、『何かテーマはありませんか』と問いかけが来た。自分の町内会では、『【自治の三原則】】についての話し合いの場をつくって欲しい』と伝えている。三原則で言うと、[話し合う] ことが一番。『協働』も、『町民参加』についても、[話し合っていく] こととなるので、その『場』をつくって欲しいと。

- ・ 青年会議所主催で、議会と高校生との意見交換会があった。
- ・ 今までなかったことなので、そういう機会があったことは良かったと思う。
- ・ 意見交換の場面があったことは、とても良かった。

- ・ 役場のある課に行った時に、職員が総合発展計画の評価をしていた。
守っているかチェックに関連して、これ以上評価を増やしても「大変かな」と思った。
そもそも、評価が多すぎて。

「守っているかチェック」はしたいけれど、何か良い方法はないだろうか？

ただ、チェックしようと押し付けてしまったら、可愛そうな気がした。

- ・ 全体の仕事量は減らしてあげたい。けれども、それはできないので、自分達が関わる範囲で、何か良い方法がないかなと思う。「減らすけれども、分かるよ」っていう方法を。
うまく考えないと、職員の負担を増やしてしまうだけではと思った。

⇒ 東田ファシリテーター

このことは、次の総合計画で考える話になるのでは…。

⇒ 委員より

- ・ 10年前に自分も関わったが、『評価をすることは、新しくていいこと』、『評価をしていくことがいいこと』と思っていたが、返ってこの10年で仕事量を増やしてしまったのではないかと。少し、そこが気になる。

⇒ 事務局より

今は何でも、成果指標で『評価をしなさい』となっている。何をしても評価がついてまわる。企画課は、そのことを職員に対してお願いをしていかなければならない立場。『申し訳ない』とも思う。今の時代は、評価をしていかないと、まわっていかない状況もある。委員の言うとおり、減らしていかなければとも思うが、同じような調査もある。町の第7期の計画を立てるにあたって、第6期の計画の検証もしなければいけないということで、委員が見かけたものと同じような調査を行ってもらわなければならない状況も控えている。

⇒ 東田ファシリテーター

そうなれば、守っているかチェックはどうなのか？ということなのでは。

③じわじわアンケート

⇒ 東田ファシリテーター

続けることで決まっていたが、このことに関係して何かあるか？

会わなかった4ヶ月間で何か変わったことや変化したところなど。

⇒ 委員より

- ・ 誰か増えた人は？
- ・ ゼロ。
- ・ カバンには入っているけれど、なかなか渡せない……。
- ・ グーグルフォームで、メッセージで送るようにしたら、お願いしやすいものなのか？

⇒ 東田ファシリテーター

それは、今年度これから考える。

ただ、この4ヶ月で1枚も増えていないっていうことは、どうしてなのか？

これは今年度の取組の③になっているけれど「大丈夫なのか？」という議論に入る。

『カバンには入っているけれど、誰も1枚もやっていない』ということ。

【地域リーダー育成】

《東小学校でのファシリテーションの授業について》 ～本間副会長からの報告～

今年5月に東小学校の6年生80人を対象に、国語の授業として、東田氏を講師にして、ファシリテーションの学習が行われた。4月には、授業の前段階として、学校の協力を受け、クラス担任の先生や内容に興味がある先生を対象にして授業内容と同様のプログラムで勉強会を行った。

東小学校の先生が、昨年度の自治推進会議を傍聴したことをきっかけに実現した。

学校側にも『地域と一緒にやってみよう』という動きがあり、地域の人達と学校が話をしていくという取組も始まっているが、そのような中で、『子ども達もその中に参加させてはどうか。一緒に話がしたい。』と大人達が言い出し、ファシリテーションの授業を受けた子にファシリテーターやグラフィッカーをしてもらってはどうかとのことで、先生を交えて相談をしている状況である。

◆そして、本間副会長が所属している「なかしべつ町民活動ネットワーク（N-CAN）」との関連で、持参した資料をもとに提案がありました。

⇒ 本間副会長

12月のフォーラムもイメージして、自治推進会議が中心となって、勉強会をしてはどうか。自治推進会議の中だけで話をするのか、それ以外の場で話をするのかもがあるが。町の人達、行政の人達、みんなが一緒になって話し合いをする。そういうのを自治推進会議で場をつくっていくのはどうか？

⇒ 東田ファシリテーター

自治推進会議と連動した自主勉強会を開きたいという内容で、N-CAN さんが出す申請書類を作らせてくださいっていうお願い？

申請書類に、ここの会議の名前や役場の名前が入るかもしれない。この場にいる皆さんが『いいよ』と言ってくれたらなのだけれど。

「協働のまちづくり町民ファシリテーター育成」として、一連の中の一つとして。自主勉強会を開くということで、もし良かったらどうですか？ということ。

ただ、自主勉強会に関しては、①のフォーラムとぴったりに合っているわけではない。それに向けてという動き。そのようなイメージ？

⇒ 本間副会長

そこは、相談しながら…。

これまでの町職員のファシリテーター研修や、まちづくり町民会議の人達でのファシリテーター養成講座をやったことで、そういう流れを汲んでいて、今この立場で。

『自主勉強会』と書いているのだけれど、それがいいのかどうか、とも思う。

そこは白紙にしている。この場所で皆さんと話し合って、実現できたらいいなと。

⇒ 東田ファシリテーター

ここで、このような問いかけがあったということで、いい？

どちらにしても、①について、どういう風に何をするかということを話し合わないと、今の話に答えは出せないと思う。

【学ぼう！】

⇒ 東田ファシリテーター

これまで、広報紙の【学ぼう！】を「もっとやわらかい表現にタイトルを変えては？」、「途中で変えられる？」という意見が出ていた。

事務局の方でも色々考えてみるということで、途中で終わっていた。

このことは、今日、決めなくてはダメだと思う。

◆事務局より、広報紙掲載記事タイトル参考（案）についての説明を行いました。

【区割り】

⇒ 委員より

・区割りの事情を聞く機会があった。

丸山小ができた時は、町内会区で分けたと。

別の人からは、信号があるかないかで分けた時もあったと。本当は中標津小校区地区だけれど、当時信号がなくて、東小校区にしたという話。

・信号を渡れないからということ？

・そう。要するにその時その時の事情があったということ。

- ・当時の担当者も、それなりに悩んでつくっているだろうから、もし変えることや、合わせることなどをするならば、その辺にも配慮をして、汲み取った上で話をして、変えていかないと思った。都市マスもそうであろうけれど、当時の事情があったであろうから。
- ・都市マスの方でも、委員さんから話が出ていた。「非常にやりづらい」と。特に「地域街づくり協議会」と町内会がバラバラ。学校区もそうだが、バラバラなので。町を横断的に町内会も関係なく区切っている協議会もある。それは、是非見直すということ進めて欲しいということ。

⇒ 東田ファシリテーター

自分も都市マスの委員なので、このことについてお話しすると、見直して欲しいのは、都市マス側でできるのは、[協議会側の線引きの見直し]。協議会を町内会に合わせて線引きし直した方が良いのではないかという意味。そうすれば、協議会の線と町内会の線が合ってくる。協議会の区割りが10個でいいのかということもある…。今は、そのような話が出ている。

【知りたい】

⇒ 東田ファシリテーター

これは、他の自治体の事例を調べようで、自治推進会議、他の自治体の自治がどう進んでいるかを調べようというもの。自治が進んでいるか、自治基本条例がうまく進んでいるかなど。どう進めているか、見直しの方法も含めて。だから、必要に応じてというもの。

◆ここで、都市マス策定委員会の静岡県への視察についての報告がありました。
(佐々木会長・東田ファシリテーター)

牧之原市のこと

※牧之原市は、昨年度の自治推進会議の勉強会の中でも紹介された自治体！！

⇒ 佐々木会長

○衝撃だった。高校生との対話では、大人と話をしているみたい。こちらも真剣になって答えなければならないという状況だった。学校の授業としてやっているのが[地域リーダー育成プロジェクト]。高校生がどの高校を選ぶかという時に、そういう授業をやっているから、それが1つの目的にもなっていた。それが、まちを好きになる理由とも言っていた。でも、卒業したら都会に行くとも言っていたが、また戻ってくる可能性は高い。

○基盤になるのは、市民ファシリテーター。このような公の会議にも市民ファシリテーターが入って、行政は、自分達のまちのことを説明するだけ。仕切りはファシリテーターが進めて、グラフィッカーがグラフィックを行う。また、衝撃的だったのは、絵が多いこと。上手な絵があるとイメージしやすい。

○市民ファシリテーターをつくったのは、最初、話し合いの場を行政主導で進めたけれど、面白くなくて、参加者が、段々減ってしまった。減っていくことをどうしたらいいかということで、ファシリテーションを学んで、会議を進めて行った。それをうまく、行政のま

ちづくりの様々な計画の中でも使って行った。東田さんがやっているようなことが、市民の中に入って来て、今は主にまちづくり協議会を仕切る。協議会は20程ある。その中の会議をファシリテーターが進行する。自治会長が仕切るのではなく、あくまでも、ファシリテーターが仕切って、いろいろな意見出しをして、みんなの話し合いの場をもって、まとめて報告するというやり方をしている。

○視察の時には、テーブル毎に分けられて、参加者がバラバラにされて、高校生も間に入って来て、「3人でまず話をしてください」という場をつくられた。その時の話が良かった。

牧之原市の行政の職員もそれが自慢なのだったと思った。市民と一緒にやっていることが自慢なのでは。そのように見えた。

是非、中標津でも、そのような会が増えていって、色々な意見が出て、楽しくなるという会議が増えていくと良いと思った。

掛川市のこと

⇒ 佐々木会長

○掛川市は、平成25年に自治基本条例をつくっている。中標津町は平成24年なので、中標津の一年後。自治基本条例を進めるために、すぐに「住民投票条例」をつくり、次の年には「協働によるまちづくり条例」をつくった。条例をつくっていった、自治基本条例を馴染ませていった。【協働のまちづくり】ということをどんどん馴染ませていった。そういうかたちをつくっていった。今は31程の集まる場所と協議会みたいなものをつくって、そこに古いものも含めてひとつひとつコミュニティセンターをつくっていった。そこで集まりの固まりをつくって、市からの援助や防災などを行っているかたちだが、そこも先に進んでいるところと、今計画しているところなどとも話し合いをしながら、かなり行政は、積極的に動いていたという思いがあった。

○ここは、[二宮尊徳さんのまち]なので、そういう教えがしっかり根付いている。

仕事に励み、分相応の生活をする。もし、お金が余ったら、分け与える。次の人達に、次の世代に。そういう教えが脈々とつながっている。

JR掛川駅の木造駅舎を残したいとなった時に、JRに確認すると「5千万円かかる」と言われた。そうしたら、『市民の浄財を集めよう』となって、結果6千数百万円程集まった。5千万円以上集まった。あっという間に集まったという。お金持ちにもそういう精神がある。

⇒ 東田ファシリテーター

5千万円を集めようとして、6千万円以上集まってしまうのは凄い。驚いた。

ここは、コミュニティセンターを[生涯学習センター]と言う名前でもとにかくどんどんつくっている。新しい施設をどんどん建てているわけではなく、役割を与えている。それが30いくつもある。どこでも、集まろうと思えば、そこに場所があって、話し合いが始まるというイメージ。

掛川市の市議会は、グラフィックをしている。牧之原市は入っていないのに、掛川はやっている。2つの市はすごく近いので、お互い刺激し合っていると思った。

⇒ 佐々木会長

地区の協議会は、自治会の集まりだけではなく、そこにNPO、団体、学校、PTA会も一緒にになって組織をつくっている。

⇒ 東田ファシリテーター

とても横がフラット。

⇒ 佐々木会長

行政の人はどうしているのか尋ねたところ、『一般の市民として入っている』との返答で、一緒になって活動していると話していた。

⇒ 東田ファシリテーター

そういう意味では、牧之原市よりも実務的には掛川市の方が進んでいるように思った。ファシリテーターという言葉は使っていないけれど、本当に横つながりはできているなど。

それは、元々「報徳の教え」があるから。

生まれたまちではないけれど、二宮尊徳が、勉強の場を開いていたので、そこが故郷的な場所になっている。

⇒ 佐々木会長

視察の中にも、「報徳の教え」の講義が1時間組まれていた。

⇒ 東田ファシリテーター

教育委員会ではなく、メインのところに生涯学習課がある。小さい子も、学生ではない人も、高齢者も、まちを守って「生涯学習」としてやっていく。「生涯学習都市宣言」も出ている。面白いまちだった。

⇒ 佐々木会長

市民が、まちづくりに完全に入り込んでいる。

⇒ 東田ファシリテーター

「掛川市生涯学習まちづくり土地利用条例」は、まず名前に驚いた。土地所有者の8割が同意しないと、自由に売り買いができない。建てたいものを建てられない。「報徳の教え」があるので、『私の土地だから好きにしていいいでしょ』ということが成り立たない。

それは歴史が物語っていることだと思う。中標津では残念ながら、今のところは無理。

そういうまちがあって、大変勉強になった。

◆ここで、本間副会長より標茶町についての報告がありました。

標茶町のこと

⇒ 本間副会長

参加した研修会の主催者の一人に標茶高校の先生がいて、話を聞いてショックを受けた。
標茶高校では、湿原について高校生が小学生や中学生に教えている。
縦の連携ができていた。

.....

(2) 今年度の自治推進会議について 《取組内容の具体的検討》

⇒ 東田ファシリテーター

令和2年度のスケジュールは、昨年度話し合っ
て、このようなものではないかとした内容。

- ・じわじわアンケートのやり方を考え直そう。
- ・分かりやすい冊子も必要ではないか。
- ・地域リーダー育成も必要ではないか。
- ・フォーラムの後、意見交換会も必要ではないか。

希望的観測的に、

今年度が終わったら、そのような感じではと…。



- 【 じわじわアンケート 】
- 【 わかりやすい冊子 】
- 【 地域リーダー育成 】
- 【 意見交換会 】

令和2年度《2020年度》

今年度、本当に①②③をするのかということと、

番号がついていないものに関してもどうしていくのかということを決める。考える。

【学ぼう】

⇒ 東田ファシリテーター

広報紙の掲載記事では、今は、【中標津町自治基本条例を学ぼう！】というタイトルになっ
ているので、「もう少し分かりやすいタイトルを決めた方がいいよね」と言う意見が出てい
て、それに対して、事務局が一応考えてくれた。どうだろう？

⇒ 委員より

- ・『楽しみながらつくる自分たちの町』のフレーズはいいなと思う。分かりやすいかなと。
これを縮めることはできるのか？そのサブタイトルが入れば分かりやすいのかなと思って
いた。縮めるのが出てこないが…。
- ・この中から選ぶのであれば良いけれど、そうではないので。
- ・みんな1つずつ案を出すのはどうか？今ここでは出ないが…。
- ・「自治基本」というフレーズは、入ったほうが良いのでは？
- ・「見て学ぶ、みんなの自治基本条例」をタイトルとしたら、サブタイトルを『楽しみながら
つくる自分たちの町』はどうか。ただ、長いのか、長くないのか…。

⇒ 東田ファシリテーター

【楽しみながらつくる自分たちの町】は、5周年記念のイベントの時のもの。

練って練って練って考えた。

思いがある。

何ヶ月も、毎度タイトルをどうするか？という議題が出て、途中まで決まりかけて、まだ戻ることを繰り返して…

⇒ 委員より

- ・そのタイトルを言ってくれて、すごくうれしい。あの時の話し合い無駄じゃなかった。
- ・簡略化したほうがいいのでは。でも難しい。

⇒ 東田ファシリテーター

疑問は、今ここで議論していても決まるのかということ。アイデアをここで出しても決まるのかということ。決め方の問題になる。

⇒ 委員より

- ・今のタイトルの「中標津自治基本条例を学ぼう」の自治基本の上に大きく「まちづくり」と書いてはどうか。
- ・漢字ばかりになってしまうのでは。
- ・自治基本条例を「まちづくり条例」としているところもある。
- ・中標津でも、まちづくり条例にしようかどうか悩んだけれど、やっぱりきちんと硬く、「自治基本条例」にしようとなったが、どうも馴染みにくいよう。「まちづくり」の方が、みんなしっくりくるのでは。

⇒ 東田ファシリテーター

これは、決まらない。今日の話し合いでは決まらない。ということが、全員、薄々感じ始めているのでは？

今日は、決め方を決めたい！！ どうすればいい？

⇒ 委員より

- ・みんなで案を出して、その中から削っていく。みんなで一人10個ずつ出すのは？
- ・2週間以内に出してもらって、みんな集まって投票をしてはどうか。
- ・いくつ出す？
- ・事務局も出してはどうか。
- ・一人最低3個で、後は自由。
- ・タイトルを分ける必要はあるか？タイトル、サブタイトル関係なく、3つ出してはどうか。
- ・23日までにメールで。事務局に送る。

⇒ 東田ファシリテーター

やってみよう。本当に決まるかどうかは分からないけれど、**決め方は決まった！！**



決まったこと！！

タイトル案は、タイトル・サブタイトル関係なく、一人3案以上を考えて、
7月23日（火）までにメールで事務局に送る。
事務局職員も案を出す。
今日の会議の欠席委員にも連絡する。
取りまとめた案を再び委員に送り、各自投票をする。

①フォーラム

⇒ 東田ファシリテーター

5周年記念の時は、けっこう回数を重ねて集まったので、スケジュール表の上のピンク色の付せんで「実行委員会×4」というのが、そういう意味。

景観の関係で、毎月何回か来ていたので、それに合わせていただいて。

フォーラム自体はやることが決まっていたので。それに向けて実行委員会を開いた。

前回の時は、フォーラム自体の「何をするか」「どういう風に進めていくか」などは、実行委員会で決めて、自治推進会議で決めたのは「開催する」ということだけ。

『自治基本条例のPR』、『条例を分かってもらおう』、『自治そのものを進めること』の基本のルールは変わらないので、細かいことは、実行委員会でしっかり話し合った。

↓

今回はどうするか。そこは決めたい。

決め方を決める、進め方を決める！！ ではどうか？

フォーラムについては、昨年度の話し合いの中で、町内会のことや学校のことなど、ちょうどいろいろな課題が出て、「じゃあ、自治って何だろう？」「どういう風に進めればいい？」ということ話を話し合った方が良いのではということが、一番みんなの中であって、「じゃあ、やろう」となった。

⇒ 委員より

- ・ 前回のフォーラムでは、ワールドカフェをした。
- ・ あの時、若い人達の意見がけっこう拾えて、面白かった。
- ・ ワールドカフェの特性として、話を聞いて、それで終わってしまうことがある。発表までいかない。
- ・ 推進会議委員の任期が終了して、委員メンバーが入れ替わりになったので、残念ながら、その時の話が活用できていない。

⇒ 東田ファシリテーター

「ワールドカフェはそういうもの」と何度も話した。でも「やってみたい」方が先だった。

⇒ 委員より

- ・ 今度は、市民ファシリテーターとして本間委員に立ってもらってはどうか？
そういうのもありなのでは？ 牧之原市は、それで伸びている。
これだけ、勉強をしているのだから。
そうやっていかないと、たぶん進んでいかないのでは。実際にやっていかないと。
- ・ 実践ですよ。
- ・ 一人でやらなくても。2人でも3人でもいい。うまく連携すればいい。

⇒ 東田ファシリテーター

そう。「言う」と「やる」と「勉強する」とは大違い。そのことを、身をもって知らない
と進められない。町民の皆さんにも言えないし。

⇒ 東田ファシリテーター

自治推進会議で、このフォーラムに関しての予算は取れているのかということから。
町の事業としてどういう風に組み立てられているのかと言うことの共有をお願いしたい。

◆事務局より、今年度の予算に関して説明を行いました。

⇒ 委員より

- ・ 前の時も予算はなく、協賛金を集めた。
- ・ それでできるなら、別に良いのでは。

⇒ 東田ファシリテーター

①となっているけれど、[フォーラムをする]という方向でいい？

⇒ 委員より

- ・ 前回の時には、自治推進会議とかは分からないままで、社協の役割を町の人に分かりやすく話してと言われて、「そんな無茶苦茶な」とその時は思ったが、行ってみると、会場の雰囲気が割と暖かく、『社協ってこんなことをやっているの？』とも言ってくれる人も。
活動紹介をして、ワールドカフェをして。
自分も、自治推進会議がこういうことをやっているのだと見る機会になったので、良かったなと。フォーラムのイメージが、そのようなベースでいた。
- ・ [町内会の加入率の話] ではどうかと言うことが、この間の話し合いで出ていたので、
5年目の時よりとっつきやすいかなとも思う。話しやすいような気がする。フォーラムを
すると面白いのではないかと。

⇒ 東田ファシリテーター

町民主体でやる？ファシリテーターも。

この自治推進会議を何回もやってもダメなので、実行委員会を立ち上げないと。

正式な自治推進会議ではない。自治推進会議とは数えない。

⇒ 委員より

- ・失敗してもいいじゃない。
- ・このままの全員が、実行委員会のメンバーで。
- ・ざっくばらんな会議とする。

◆会議出席者の合意で、

フォーラムの開催が決まりました。

決まったこと！！

今年度フォーラムを開催する。

その開催に向けて、自治推進会議とは別に、実行委員会を立ち上げる。

自治推進会議委員メンバーが
実行委員会のメンバーになること。

⇒ 東田ファシリテーター

最初の日にちを決めて欲しい。そうしないと、時間がどんどんなくなってしまうので。

厳しくて申し訳ないが、早くしないと。

⇒ 委員より

- ・フォーラムの予定は、一応12月ではどうか。

⇒ 東田ファシリテーター

12月には、なかしべつ景観まちづくりフォーラムが12月15日に入っている。

当初「12月にフォーラムをできればいいよね」と言っていたけれど、12月15日に景観フォーラムが入ったのに「できるの？」ということがある。

⇒ 委員より

- ・日にちについては、もう一度練りこむ必要がある。
- ・1年半ばを過ぎると、冬まつりの準備に入る。

⇒ 東田ファシリテーター

私が来るのは、7/27（土）、7/31（水）、8/1（木）。

場所は、役場が取れば。そこで、フォーラムのことを決めていく。

◆第1回目の実行委員会開催は、8/1（木）午後7時～役場会議室となりました。

（先程の本間副会長からの提案に関して）

⇒ 東田ファシリテーター

フォーラムに関係して、地域リーダー育成のところで報告をしていただいたN-CANさんの申請書類を、自治推進会議の名前を入れて、今は自主勉強会となっているものをフォーラムに変更することについて。

全員の「はい」を聞かないと。

会長が「いい」と言っても「いいよ」にはならない。

N-CAN さんが出す書類の〔町民ファシリテーター育成〕の中で、それには、自治推進会議が大事になってくるから、自主勉強会として組み立ててきたけれど、これまでの一連の流れから、フォーラムの話題が出たので、内容の組み立ては未定のところはあるけれど、申請書に書かせてくださいという話。

「N-CAN が協働していますよ」ということで、自治推進会議の名前と協働推進の係の名前を入れさせてもらいたいと。こういう取組をしていきますよと。

申請書に書くこと自体は問題ない？

事務局側もいいのかどうか？そこははっきりしておく。

◆このことについて、事務局了承。会議出席者からも特に反対意見は出ませんでした。

⇒ 本間副会長

ありがとうございます。

③じわじわアンケート

⇒ 東田ファシリテーター

カバンに入っているが出ていない。1枚も進まずの〔じわじわアンケート〕。

前は、「けっこう大事だよね」となって、持ち歩こうとなった。

皆さんに次に会う実行委員会の8月1日までは、3週間くらいある。

それまでに進める？無理？

一回自分の周りはやってしまっているの、ルーチンで仕事をしている人は、単純に「つらいだろう」などと思う。もう一回は、「つらい」と個人的には思う。毎度毎度会う人が違えば、その人達にお願いすることはできるけれども。

◆自身がアンケートの入力フォームをつくることについて、本間福会長から提案があり、完成後は、その内容は事務局経由で各委員へ伝えることとなりました。

⇒ 東田ファシリテーター

フォームを作って、皆さんに渡す。そして紙もとりにあえず持って歩く。

キャンペーンは、フォーラムとか、「場」がないと。

自治推進会議に関係なく、都マスの委員に配るのはどうか？

ルーチンの人はあまり無理しないで、**新しい場がある人は、開拓する！！**

②守っているかチェック

⇒ 東田ファシリテーター

どうすれば、いいか？「大事か？」というところで止まっているけれど。様子を見る？

①②③の番号がついているものは、今日、どうするかを決めたい。

実行委員会の時には、自治推進会議ではないということが基本なので。

【学ぼう】のことは、決まった。【区割り】のことは、たぶんここだけでは決まらない話。

【知りたい】は、都度勉強していけばいいよねと。

それぞれ、共有事項があったけれど、評価することが本当にいいのか、評価の種類とか、『量が多くて、ちょっと職員さん大変だよ』という意見も。

そこで、改めて「守っているかチェックは本当に大事なのか？」というところの議論や意見交換となった。

⇒ 委員より

・口頭で、気づいたことを言っていくのはどうか。

⇒ 東田ファシリテーター

誰に？話し合いの時の付せんでは、いろいろな人が出ていた。

行政側の部局が、本当に守っているか？

守っているかっているのは三原則が守っているか？ということ。

議会もチェックしてみよう。

情報共有とか町民参加がホント本等に進んでいるのか？というところをチェックしていくこと。そこにアドバイスすることができればいいよね、と。

⇒ 委員より

・例えば、広報で公募しているか、広報しているか、SNS で発信しているか、情報を出しているかなどは？

・パブコメで町民から意見を受けているかということだけど…。

結局、「できていないよね」というところから、守っているかチェックに至ったのか？

・守ってやっているのだろうけれど、実際につながっているのか？ということ。

⇒ 東田ファシリテーター

守ってやっているのだろうけれど、分かっていない。私たちが分かっていない。会議のメンバーが分かっていない。

⇒ 委員より

・都市マスでアンケートを書いた。あの中で、行政が自分達でやっていることがあった。

・厳しい声が多かった。

- ・「数字で見る自治基本条例の運用状況」があるので、これを使って「守っているかチェック」にするのはどうか？

◆事務局より『数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況（平成30年度分）』について説明を行いました。

⇒ 委員より

- ・推移はグラフで出てくるのでは？
進んでいるかどうか。単年度で見ていたら分からないけれど、去年と一昨年を比べて、人数が増えているねとか、パーセンテージが上がっているかなど。

⇒ 東田ファシリテーター

単年度ではなく経過をみるということ？

守ってやっているところの評価はできるけれど、これだと、そうしているところの評価し
かできないということでは。やっていないところがどこかは分からない。

「守っているかチェック」をどう考える？

以前、石狩市役所でまとめた、経年変化が分かる資料を見たことがあるけれど、やっぱり
同じ。パブコメも、やっている年とやっていない年があるので、結局そこは、経年変化を
見てもあまり意味がないのではという話になって、経年変化で見ることができる案件とで
きない案件に分けて、表にさせていただいた記憶がある。

毎年のものであるから、まずは、それを見るしかないのでは。

見て、せめてどのようなチェックができるか、

委員側が考えるしかないのではないだろうか？ そういう気がする。

⇒ 委員より

- ・どうしたらいいのだろう。後々、それを調べて何になるのかもある。
【守っているかチェック】って前回出したけれど、よくよく考えて何になるかということ。
チェックすることがプラスになるのか、
- ・部局の人に来てもらって、話をしてもらって、それを、「ああそうなんだ」と伝える側になるのか。
- ・部長さんや課長さんたちと話をするのが、面白かった。それは分かれる前の外部評価だったかもしれない。

◆ 事務局より外部評価について説明を行いました。

～以前は、外部評価を自治推進会議で行っていた。外部評価委員会では、現在でも、担当
部課長を参集して直接意見を聞くことのある場合がある。～

⇒ 委員より

- ・その時は、部局での悩み『実は困っている』との話を聞いた。でも、それは守っているかチェックではない。でも、面白い。町民と行政との理解の場所にはなっている。

.....

(3) 振り返りと確認

○フォーラムは、開催することで決まった。

1 回目の実行委員会は、8 月 1 日（木）に役場会議室。

○じわじわアンケートは、フォームを本間副会長が作ることに。

事務局経由で委員の皆さんに連絡する。

アンケート用紙はとりあえず持って歩く。

ルーチンの仕事でない人は新しい場を開拓していく。

そのかたちで少し続けてみる。

○学ぼうは、新しいタイトルに変更することとなり、みんなで考える。

タイトル・サブタイトル関係なく、一人 3 個以上の案を出す。

7 月 2 3 日までにメールで事務局に送る。欠席者にもお願いして、事務局職員も考える。

そして、投票。メールで事務局が整理したものを送って、良いものを選んで返送する。

投票内容は事務局で集計する。

⇒ 東田ファシリテーター

守っているかチェックだけは、今、中途半端の状態にあるけれど、どうするか？

今日は、時間切れでいい？

8 月 1 日に実行委員会もするけど、このことの話し合いも少しする。

どうすれば、守っているかチェックになるのか？

何が守っているかチェックなのか？

本当に守っているかチェックをやりたいのか？と言うことが、今ブレて来たように思う。

⇒ 委員より

- ・守っているかのチェックというよりも、[話し合い] がしたいのかも。

- ・情報交換。

- ・『協働』って進めたけれども、何が難しいとか、進めたいのだけれども、うまく行かないことがあって、人を知らなくてとなれば、あの人いる、この人いるとの情報交換。

- ・[チェック] って言ったら身構えてしまうから、ざっくばらんに聞きたい。「教えて」って言う感じ。

- ・これは、けっこう難しいことなのでは。

- ・今日の私達は、このことが、難しいということに気がついた。

- ・テーマを絞ってはどうか。
例えば、『まちづくり懇談会』で、どのような話し合いがもたれたのか？など。
- ・それは面白いかもしれない。

⇒ 東田ファシリテーター

自治の話だから。それはそれで面白いかも知れないけれども。

まちの話、町民の声を聞いて、「他の町民って、こういうことを町に要望しているんだ」と分かることは、とてもいいかもしれない。普段そういうことを言われているのねってことが分かる。

「守っているかチェック」を本当にしたいのか？

スケジュールに書いている黄色の付せんをよく見て、自治推進会議の委員としては、三原則が進んでいるのか、そもそも、情報共有は何をもって情報共有なのか、何をもって町民参加なのか、それを分かっていると、チェックもできないのでは、そういう話かもしれない。

(4) その他

事務局より、以下の内容について確認を行いました。

- ◆自治推進会議としての会議は、今年度3回であること。
- ◆実行委員会形式の時には、皆さんが自主的に集まっていただくこととなること。
(実行委員会の時には、費用弁償の支払いにはならないことについての理解を伝える。)
- ◆実行委員会に係る開催案内等については、事務局より各委員宛にメール配信すること。
- ◆実行委員会は、8月1日(木)午後7時から。
場所は、問題なければ、今日の会議と同じく役場302会議室とすること。

4 閉 会